


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局: 気候変動対策認証センター) 御中

平成22年 11月 26日

## 妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
京都・びわ湖地域 カシックス・油藤商事共同によるバイオディーゼル(B100)代替え事業						
GHG 妥当性確認機関						
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	KPMG あずさサステナビリティ株式会社					
担当部署名						
担当者名	家弓 新之助					
担当者 E-mail	shinnosuke.kayumi@jp.kpmg.com					
担当者電話番号	06-7731-1304					
機関要件への合致	E001-E022。 気候変動枠組条約における指定運営組織として登録され、かつ、ISO14065 認定取得の意思を有し、すべての検証の活動に法的責任を負うことができると認められる機関。					
妥当性確認報告書発行日	2010年11月26日					
審査内容		審査結果概要				
適用妥当性確認・検証ガイドライン		オフセット・クレジット(J-VER)制度妥当性確認・検証ガイドライン Ver.1.2				
妥当性確認期間		平成22年 10月21日～平成22年 11月26日				
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2			25	37	37
プロジェクト情報 (A・B)		質問、証拠書類の閲覧、現地確認等の手続きを実施し、オフセット・クレジット(J-VER)制度(以下、「J-VER 制度」という。)に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書(以下、「プロジェクト計画書」という。)の A:参加者情報、B:プロジェクト活動の概要に記載されているプロジェクト情報が、すべての重要な点において、J-VER 制度実施規則、モニタリング方法ガイドライン及び適用される方法論(以下、あわせて「J-VER 実施規則等」という。)に従って表示されていることを確認した。				
適格性要件(C)		質問、証拠書類の閲覧、現地確認等の手続きを実施し、プロジェクト計画書の C:方法論の適用において記載されている、ポジティブリストの適合性基準と				

	の整合性等の情報、すべての重要な点において、J-VER 実施規則等に従って表示されていることを確認した。
排出量・吸収量算定 (I・II)	質問、証拠書類の閲覧、現地確認等の手続きを実施し、プロジェクト計画書別紙 I. 排出削減量の算定で考慮する温室効果ガス排出活動、II. 算定式に記載されている情報が、すべての重要な点において、J-VER 実施規則等に従って表示されていることを確認した。
モニタリング計画(III ~VI)	質問、証拠書類の閲覧、現地確認等の手続きを実施し、プロジェクト計画書別紙 III. モニタリング詳細、IV. モニタリング、V. モニタリング体制図、VI. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)に記載されている情報が、すべての重要な点において、J-VER 実施規則等に従って表示されていることを確認した。
その他(D)	質問、証拠書類の閲覧等の手続きを実施し、モニタリング計画書 D:その他に記載されている情報が、すべての重要な点において、J-VER 実施規則等に従って表示されていることを確認した。
機関の見解 (サマリー・結論)	プロジェクト計画書が、すべての重要な点において、J-VER 実施規則等に従って作成されているものと認める。詳細に関しては別添の「妥当性確認機関の保証報告書」を参照。
パブリックコメントの概要	
<p>パブリックコメントの募集期間 2010年11月10日～2010年11月24日</p> <p>コメント なし。</p> <p>妥当性確認機関の見解 なし。</p>	